

難聴学級ベルだより

２０２６年（令和８年）６月１６日
福 山 市 立 西 幼 稚 園



補聴器・人工内耳について



補聴器や人工内耳は身につけて音を聞こえやすくする器具です。難聴学級のこどもたちは、それぞれ自分の聞こえの状況によって必要な器具を装用しています。補聴器や人工内耳はとても壊れやすいものです。園生活の中でもあたって落ちたり、水に濡れたり砂が入ったりすると、壊れたり機械の調子が悪くなったりしてしまいます。少しの湿気でも微妙に音が変わることもあり、とても敏感に変化があらわれます。



★耳かけ形の補聴器

水遊び・プール遊びの時は外します。



★人工内耳：内耳の働きをする医療器具です。

水遊び・プール遊びの時はカバーを付けて使用できます。

補聴器や人工内耳を付けていても騒音下やざわざわした場所では、聞き取りにくいこともあります。

水遊び・プール遊びの時はどうしてるの？



自分の大切な器具という意識を持てるよう、ケースの置き場所を一緒に決め、教師の見守りの中で少しずつ自分でも準備や管理ができるよう取り組んでいます。

補聴器を外したり、人工内耳に防水カバーを付けたりすると、いつも以上に音が聞こえにくくなります。

聞こえにくくて分かりにくい時は「もう少し大きな声で言って」とお願いすることや、困ったことを自分なりに伝えようとしたりする姿を大事にかかわっています。また「肩をトントンすると気づきやすいよ」「顔を見て話すと分かりやすいよ」など、伝わりやすい方法を、折を見て周りの友だちにも知らせています。